

2023年度 FD 活動報告書

◆教育学部◆

教育学部では 2023 年度春学期に生成系 AI の学部教育への影響と対応について、また、秋学期には現在の基礎演習の将来的見直しに関わる内容をテーマとして、それぞれ FD 研修会をもった。春学期は 2 名の教員による生成系 AI の具体的な特徴について実演を交えた研修を行った。教育学部は保育士養成、小学校教員養成、中学校・高等学校教員養成、さらに特別支援学校教員養成の免許課程を運営しており、多様な専門科目が用意されている。こうした様々な専門分野によって異なる影響を学部内で共有するとともに学生の専門性を高める上での大学教育における AI 利用の可能性と課題について協議を行って内容理解を深めた。秋学期には 1・2 回生を対象とした現行の基礎演習の見直しのために設置された新基礎演習検討部会の答申をもとに、その概要説明と学部全教員によるグループ協議を行った。教員や保育士資格に必要な各種実習と海外留学などとの両立、さらに教員や保育職以外の進路を志望する学生に対する教育学部ならではの学修機会の充実を念頭に、入学時から卒業までの教育学部における連続性のある学びの質向上に資する基礎演習の在り方を議論した。

◆教職教育研究センター◆

本年度は3回のFD研修会を行った。第1回は7月11日(火)に「自己点検・評価を踏まえた教育改善に向けて」というテーマで、教職課程における自己点検・評価の報告書の作成にあたり、章ごとに担当を割り振り作成した素案を基に、自己点検・評価を行うにあたっての課題を懇談した。

第2回は10月10日(火)に1回目と同様のテーマで開催し、教職課程における自己点検・評価の報告書案の内容について懇談した。

第3回は12月15日(金)に非常勤講師や教務担当副学部長の参加も得て、国語科教育法ご担当秋田久子先生による「研究発表」およびセンター長による「本学教職課程の現状」の報告を行った。授業実践報告を交えた発表により、教育の場を通して本学の理念を実践できる「関学らしい教員」の育成や教科教育法のあり方等について理解を深めるとともに、本学教職課程の現状についてデータを基に共有し、今後の授業改善等に向けて意見交換をすることができた。

なお、以上の研修会のほかにも、センター連絡会の機会を利用し、専任教員を対象に研究倫理教育・コンプライアンス教育およびシラバス改善、教育の質の向上に向けた取り組み等について懇談を行うとともに、自己点検・評価について継続的に検討を行い11月に報告書を公表した。